



感染症発生動向

<全数把握対象疾患(2024年12/30~2025年2/2(1週~5週))>

【潮来保健所管内】

2類	結核3件
5類	侵襲性肺炎球菌感染症1件

【茨城県内】

2類	結核 32 件
3類	腸管出血性大腸菌感染症4件
4類	A 型肝炎 1 件、つつが虫病 2 件、レジオネラ症3件、アメーバ赤痢 1 件
5類	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1 件、急性脳炎 4 件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 件、後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む)1件、侵襲性肺炎球菌感染症 17 件、梅毒 21 件、百日咳 4 件

<定点把握疾患報告状況(1/27~2/2(5週))>

◎インフルエンザ

管内のインフルエンザの定点あたりの報告数は、第5週で 6.69 と大幅に減少しています。全県的にも減少しており、昨年 12 月 26 日に発令したインフルエンザ流行警報は令和 7 年 2 月 6 日に解除となりました。

◎感染性胃腸炎

管内の感染性胃腸炎の定点あたりの報告数は、第5週で 6.63 となっており、前週の 4.00 と比較し増加しています。今後の発生動向にご注意ください。

◎伝染性紅斑

管内の伝染性紅斑の定点あたりの報告数は、第5週で 1.38 となっており、2020 年以降最多となっています。年齢別にみると4~6歳の報告が9割となっています。今後の発生動向にご注意ください。

★別添「定点把握対象疾患報告数」も合わせてご確認ください。

鳥インフルエンザ

養鶏場で鳥インフルエンザの発生が相次いでいます。鳥インフルエンザとはトリに対して感染性を示すA型インフルエンザウイルスの感染症です。人における感染者のほとんどは、感染した家きんやその排泄物、死体、臓器などに濃厚な接触歴があります。日本で発症した人は確認されていません。感染症法では、A(H5N1)及び A(H7N9)の鳥インフルエンザは 2 類感染症に、それ以外の亜型の鳥インフルエンザは 4 類感染症に位置づけられています。

〈参考〉

鳥インフルエンザについて(厚生労働省):

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000144461.html>

梅毒

梅毒は、梅毒トレポネーマによる細菌感染症で、主に性的接触により、口や性器などの粘膜や皮膚から感染します。県内の報告数は 2020 年以降増加傾向となっており、2024 年の報告数も過去最多となる見込みです(速報値)。県感染症情報センターで概要をまとめておりますので、ご確認ください。

茨城県における梅毒の動向(茨城県感染症情報センター)：

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/syphilis/syphilis.html>

茨城県内の急性脳炎(脳症を含む)におけるインフルエンザ脳症について

インフルエンザは、インフルエンザ脳症と呼ばれる、重度の中枢神経症状を呈する急性脳症を発症することがあります。年末年始のインフルエンザ罹患者の増加に伴い、インフルエンザ脳症についての報道も増加しております。県内のインフルエンザ脳症の発生動向について、県感染症情報センターホームページに情報を掲載していますのでご確認ください。

茨城県内の急性脳炎(脳症を含む)におけるインフルエンザ脳症について(茨城県感染症情報センター)

:<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/documents/innhurounosyou.pdf>

Topic: 2月4日は風しんの日

2月4日は「風しんの日(2(ふう)月4(しん)の日)」です！！

【風しんについて】

症状：発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とする。無症状～重篤な合併症併発まで幅広い。

合併症：血小板減少性紫斑病、急性脳炎、関節炎等。妊娠中の女性が感染すると先天性風しん症候群(CRS)が出現することがある。

潜伏期間：14～21日間

感染経路：飛沫感染。※発症約1週間前～発疹出現後1週間程度感染力がある

治療・予防：対症療法。予防にはワクチンが有効。

〈参考〉風しんについて(厚生労働省)：

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index.html

◆◇
潮来保健所の疫学調査データを用いた学術論文が掲載されました。

◆◇
家庭内感染に関する COVID-19 ワクチンの間接的予防の効率と間接的予防と直接的予防の相互作用（ワクチン誌）

初発症例も接触者もワクチンを接種していない接触者(0,0)と比較して、(2,0)、(0,2)、(2,2)のデルタ株二次感染率は低かった(それぞれ 0.45、95%信頼区間 0.24~0.82、0.24、95%信頼区間 0.17~0.032、0.11、95%信頼区間 0.06~0.20)。 <https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0264410X24007497>

オミクロン BA.2 優勢期における家庭内接触者に対する新型コロナウイルスのワクチン効果（CDC 新興感染症誌）
最近(3 か月未満)接種のない家庭内接触者の発病率は、2 回接種していない初発患者の接触者より、2 回接種した初発患者の接触者の方が低く、間接的なワクチン効果を示した。

https://wwwnc.cdc.gov/eid/article/30/7/23-0968_article

過去に配信した内容を当所ホームページに掲載しています。

https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/itaho/hoken/itakohc/category/kenko-arekore/kansenshoinfo_itakohc.html

◆◇関係リンク◇◆

<茨城県感染症情報センター>

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/index.html>

◆◇問い合わせ先◇◆

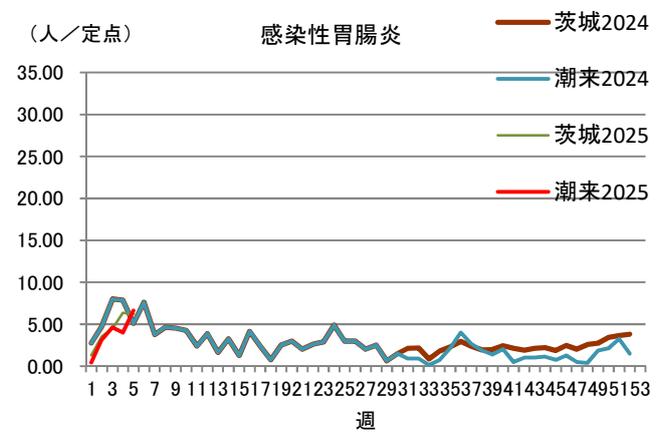
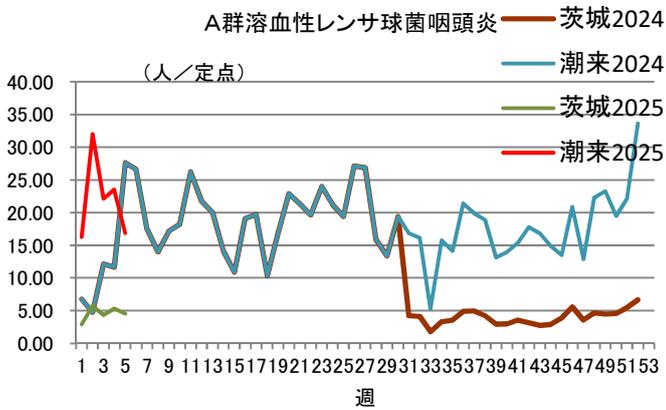
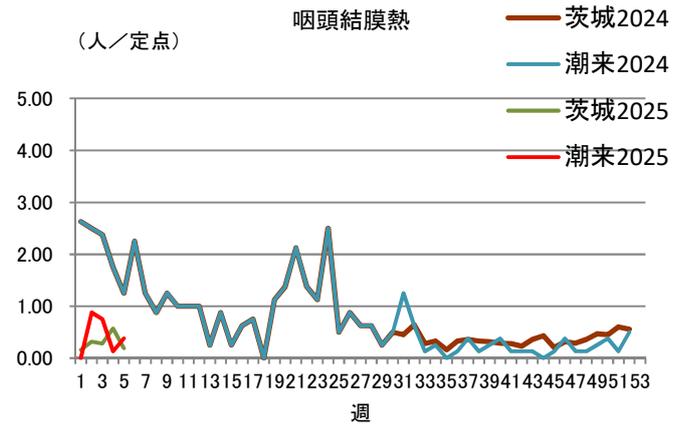
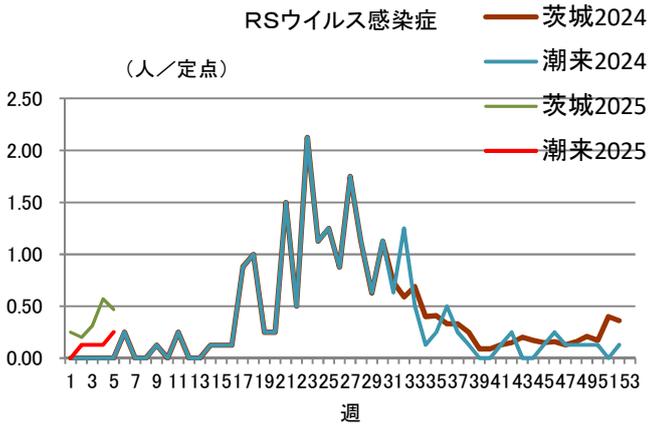
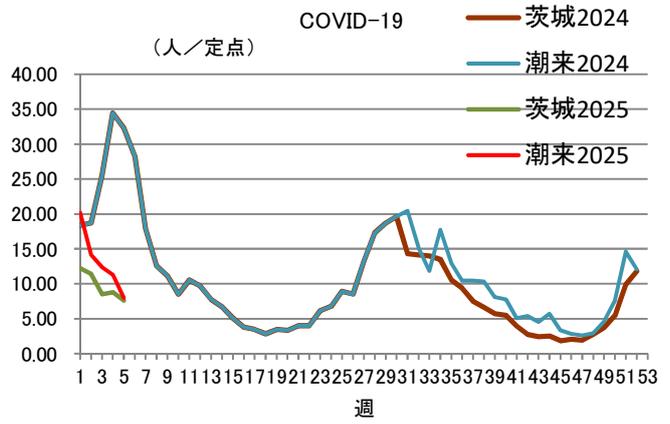
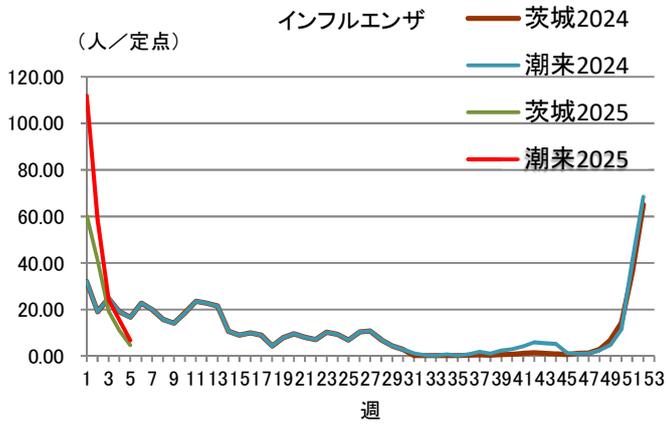
茨城県潮来保健所 保健指導課

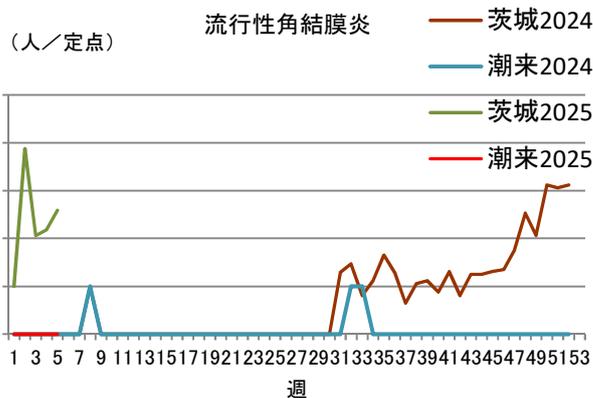
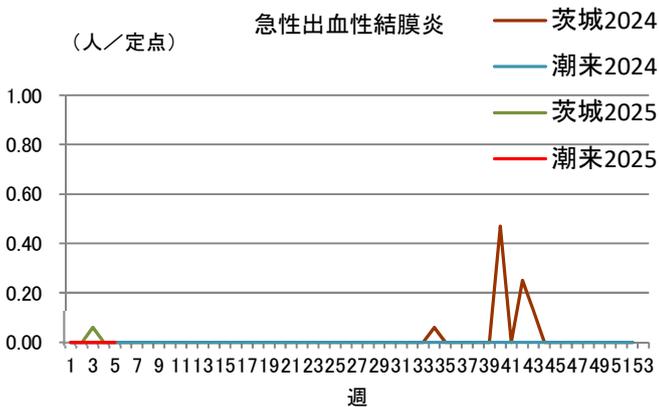
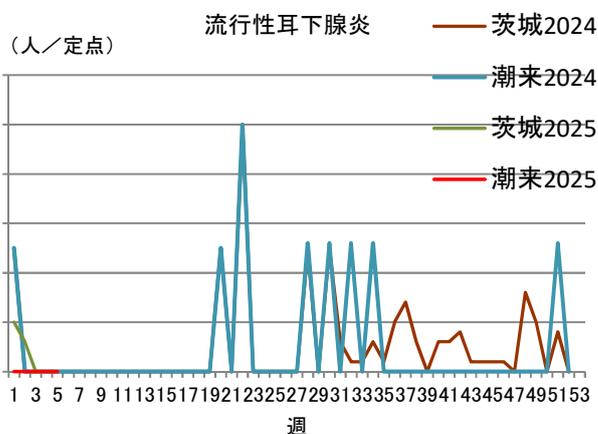
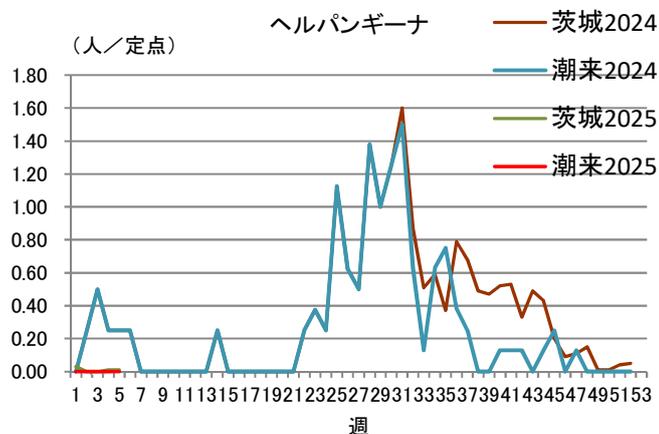
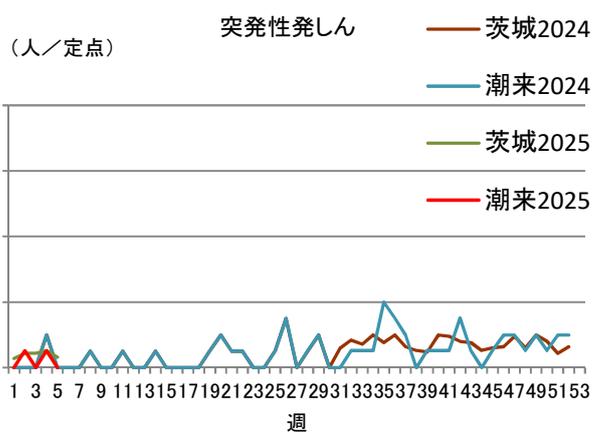
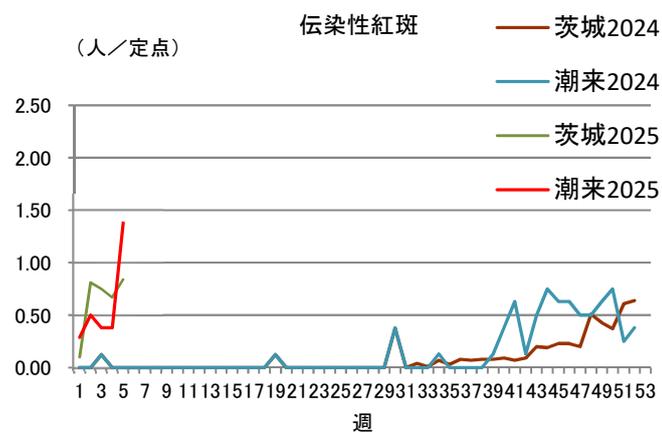
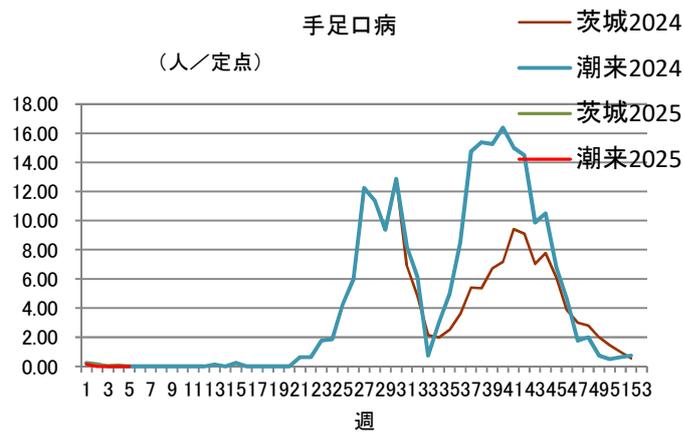
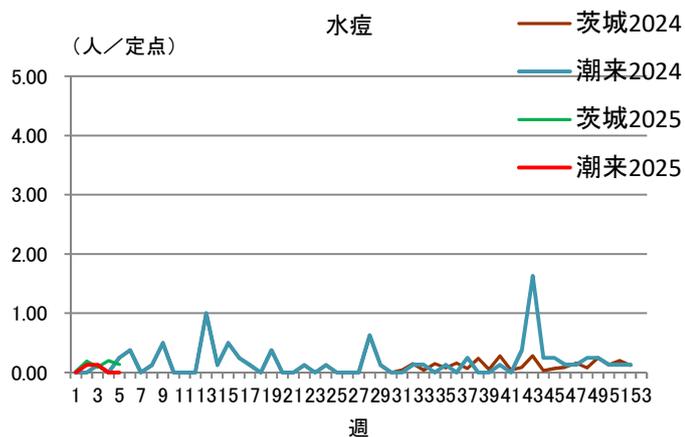
TEL:0299-66-2174

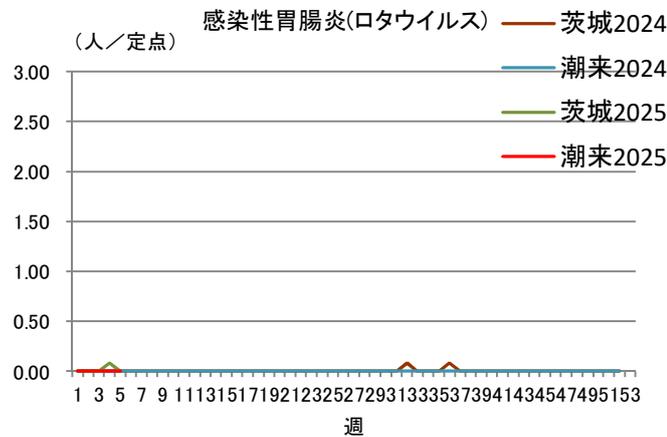
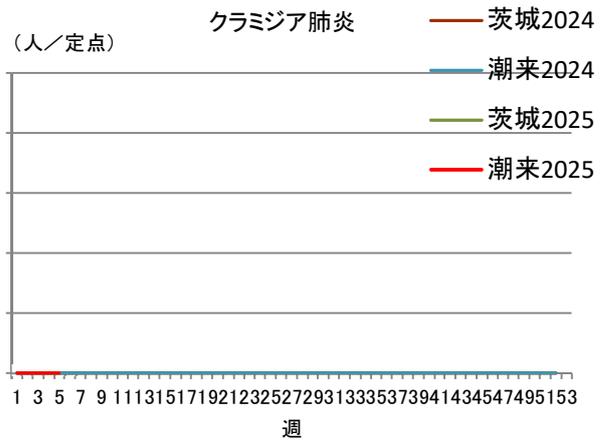
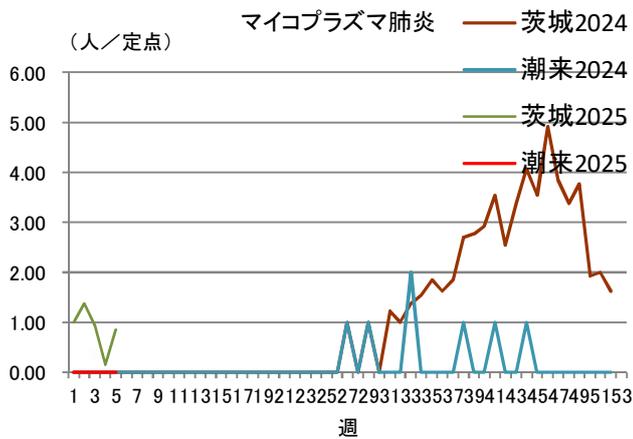
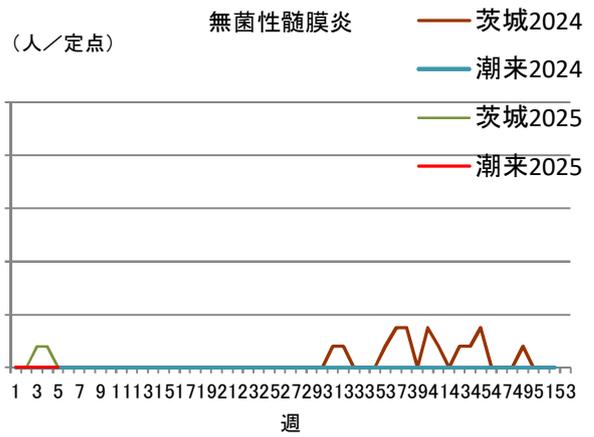
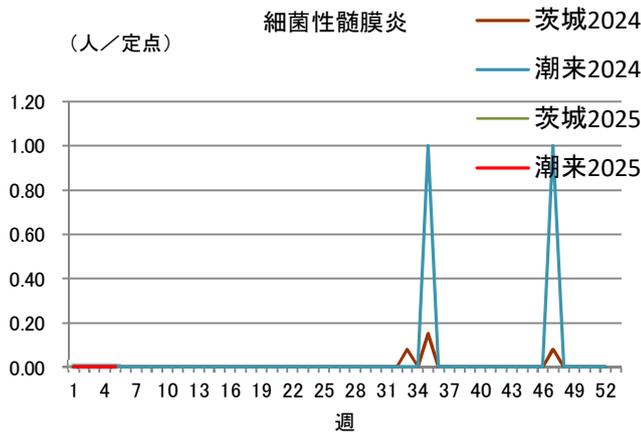
Mail: itaho05@pref.ibaraki.lg.jp



定点把握対象疾患報告数【週別発生状況】2024年・2025年







保健所管内別定点医療機関数

保健所名	定点種別					
	インフルエンザ	小児科	眼科	性感染症	基幹	疑似症
中央	5	3	0	1	1	1
ひたちなか	16	10	2	2	1	3
日立	11	7	2	2	2	1
潮来	13	8	1	2	1	1
竜ヶ崎	16	10	3	3	2	2
土浦	11	7	2	3	1	1
つくば	15	9	2	2	1	2
筑西	11	7	1	3	1	1
古河	10	6	1	1	1	2
水戸市	12	8	3	3	1	1
計	120	75	17	22	12	15